



阿像

吽像

有形文化財（彫刻）

28. 木造力士像 2 軀一対

もくぞうりきしぞう

く 軀一対

■指定年月日 昭和63年3月18日(1988)

■像 高 阿像 36.0cm 吽像 35.0cm

■所在地 若山町経念 12-32

■所有者 古麻志比古神社

いちぼく
一木丸彫り造りで彩色の跡が残っている。両像ともに筋骨隆々とした裸体で禪をしめている。足をわずかに開き、片手をにぎって腰につける。両像とも片腕を欠損しているため、その所作はわからないが、肩に届く長髪で、歯をむき出し、大きく開いた眼で睨みつける、全国でも珍しい容相をもつ像である。

ともあれ、信仰の対象物として、全国的にも例の少ない異形の木像として、貴重な資料といえよう。

仮に力士像とされてはいるが、狛犬と同じように、神を守護するものとして作られ、奉納されたものと考えられる。本殿に向かって右に阿像、左に吽像を配置する習いに従えば、参拝者の方に顔を向けて、肩を怒らして威嚇するかのよう^{いかく}に置かれていたのであろう。